

10月の星空まっぷ

「10月中旬、午後8時頃に見える星空」

相変わらず気候変動を感じさせる空模様じゃのう。この夏の天候の悪さには、いい加減参ってしまっただ。夜空の星たちも、ヤキモキしている頃じゃらう。気分一新、晴れ渡った秋の星空に期待しよう！

「今、土星や木星が見えてるよ」ってお友だちが言ってきたよ。ホミリーも、土星や木星と秋の星たちを見たい！

秋の星空は

ギリシア神話の世界！アルデバラン

天頂近くを見上げてみよう。

星がきれいに四角形に並んでいるのが分かるかな？秋の星たちを探そう！秋の四角形になる道しるべ「秋の四角形」じゃ

秋

この四角形、星空を駆ける天馬「ペガサス(座)」のお腹あたりに並ぶ星たちで、秋の星空に描かれたギリシア神話の登場人物たちの案内役だ。

では、さっそく、この星座神話「古代エチオピア王家の物語」の世界を訪ねることにしよう。登場人物は、アンドロメダ姫(座)、カシオペア王妃(座)、ケフェウス王(座)、

ペルセウス王子(座)、そして忘れてならないのが東南の空に潜む化けくじら(座)の6星座。神話では、あわや化けくじらのいけにえ寸前のアンドロメダ姫を、天馬ペガサスにまたがったペルセウス王子が救出するという英雄伝、その後ペルセウス王子とアンドロメダ姫はめでたく結婚、ハッピーエンドとなる！数あるギリシア神話の中でも、星座神話の定番として人気の物語じゃな。

あらすじは、ぜひ皆さん、それぞれひも解いてほしい。

2023.10

星爺(ほしじい)

木星と土星の姿を知らう！

明るい星が少ない秋の星空、木星と土星がひとときわ明るく輝いておる。土星と木星は、地球より外側の軌道を周る地球の兄弟惑星じゃ。皆さんも、水、金、地、火、木、土、天、海と唱えながら、惑星の名前を覚えたのではないかな。

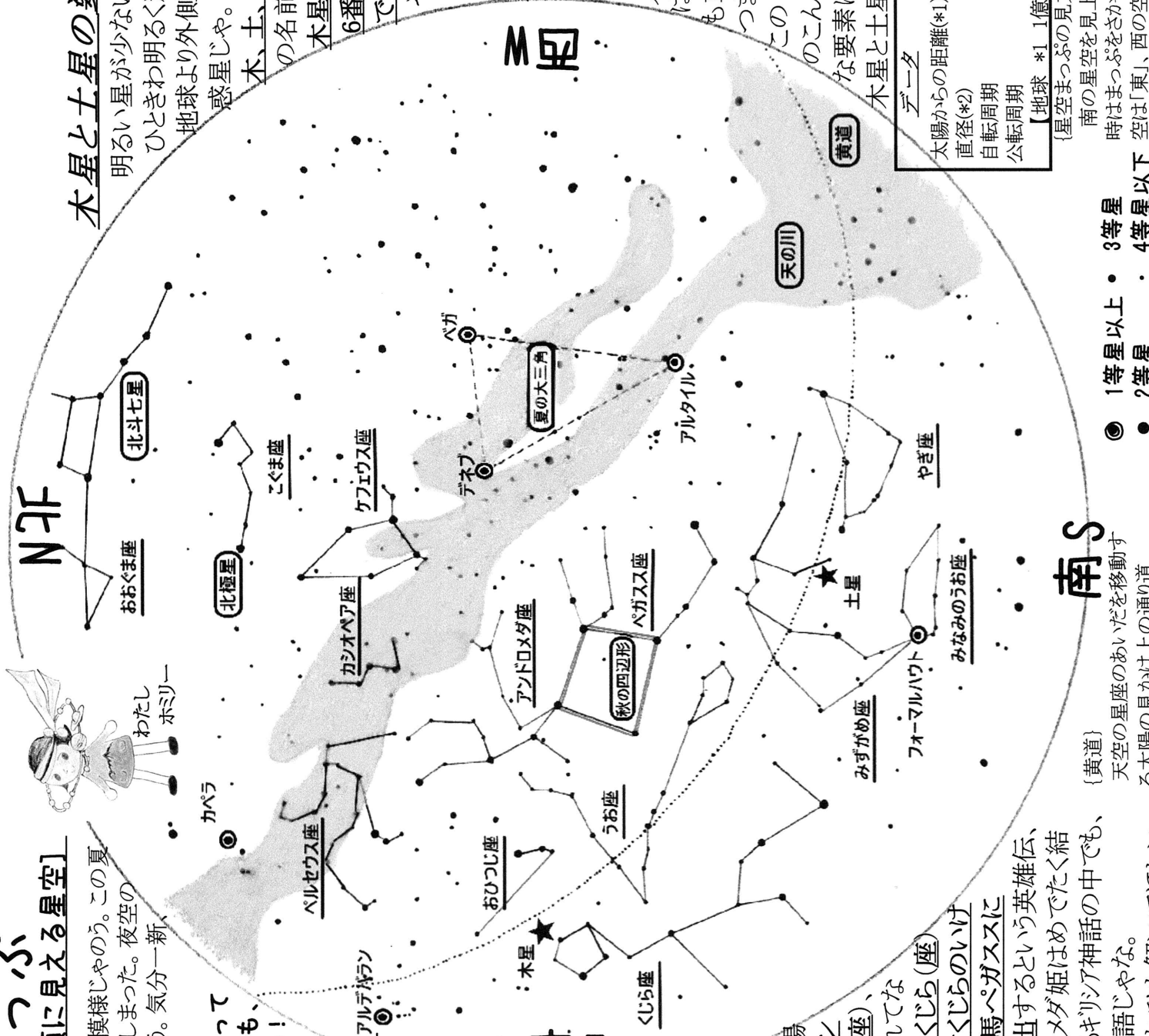
木星、土星は、その第5番目と6番目の惑星、どちらもガスでできている巨大惑星で、それぞれ地球直径の11倍、9倍の大きさを誇っておる。

木星は縞模様と目玉のように見える大赤斑が人気だ。また、土星は何と云っても見る者の目を引き付ける美しい輪っか(リング)が大人気じゃな。そして、驚くのは、この2惑星、なんとどちらも10時間ほどで自転している。つまり、1日が10時間と言うこと。この自転の速さが、これら2惑星のこんな姿をつくりだしている大きな要素になっていろいろじゃな。

木星と土星の「へー!?!」レバかかかな？

データ	木星	土星
太陽からの距離(*1)	7億8000万km	14億3000万km
直径(*2)	142,984km	120,536km
自転周期	10時間	10.6時間
公転周期	12年	29年
【地球 *1 1億5,000万km *2 12,756km】 {星空まっぷの見方}		

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぷをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね！



{黄道}

天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道

- 1等星以上
- 3等星
- 4等星以下
- 2等星